

第5次幸手市総合振興計画 後期基本計画策定

第4回 市民検討会議

平成25年3月26日(火)
19:00～21:00

第4回市民検討会議のプログラム

1. はじめに（約10分）

市民検討会議の流れと検討テーマについて説明します。

2. テーマに関する情報提供（約10分）

本日のテーマに関わる基礎データ等について紹介します。

3. グループワーク① 現状把握（約35分）

「みんなでまちをつくるために」に関する検討課題に対して、現状についての意見交換を行います。

（休憩）

4. グループワーク②課題解決に向けたアイデア出し （約35分）

ワーク①で整理した現状を踏まえて、課題を解決するための取り組みアイデアについての意見交換を行います。

5. まとめ（約15分）

出された意見を共有します。



1. はじめに

市民検討会議の流れ

第2回から第4回にかけては、各回ごとに、検討テーマについて現状把握や課題解決に向けた取り組みアイデアの検討などを行います。

第1回
1/20(日)

テーマ設定

・「幸手市のまちづくりにとって重要なこと」について意見交換を行いました。

第2回
2/3(日)

検討(1)

テーマ

『活気と活力のあるまちをつくるために』

第3回
2/27(水)

検討(2)

テーマ

『安全・安心なまちをつくるために』

第4回
3/26(火)

検討(3)

テーマ

『みんなでまちをつくるために』

第5回
4/24(水)

とりまとめ

・事前送付する「提言書(案)」について、確認します。
・協働の推進について、とりまとめを行います。

後期基本計画策定に向けた「市民検討会議 提言書」として提出

各回のテーマと検討課題

テーマ

検討課題

【第2回】

活気と活力のあるまちをつくるために

①

子どもがいきいきと成長でき、かつ将来、子どもが残れるまちにするにはどうすれば良いか。

②

幸手の自然や文化を守り育てるためにはどうすれば良いか。

③

働く場所があり、活気があふれるまちにするためにはどうすれば良いか。

④

安心・安全に住み続けられるまちにするためにはどうすれば良いか。

⑤

快適・便利に暮らせるまちにするためにはどうすれば良いか。

【第4回】

みんなでまちをつくるために

⑥

幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか。

⑦

一人ひとりが活躍できる、地域力の高いまちにするためにはどうすれば良いか。

⑧

幸手のまちづくりをみんなで考える仕組みをつくるためにはどうすれば良いか。

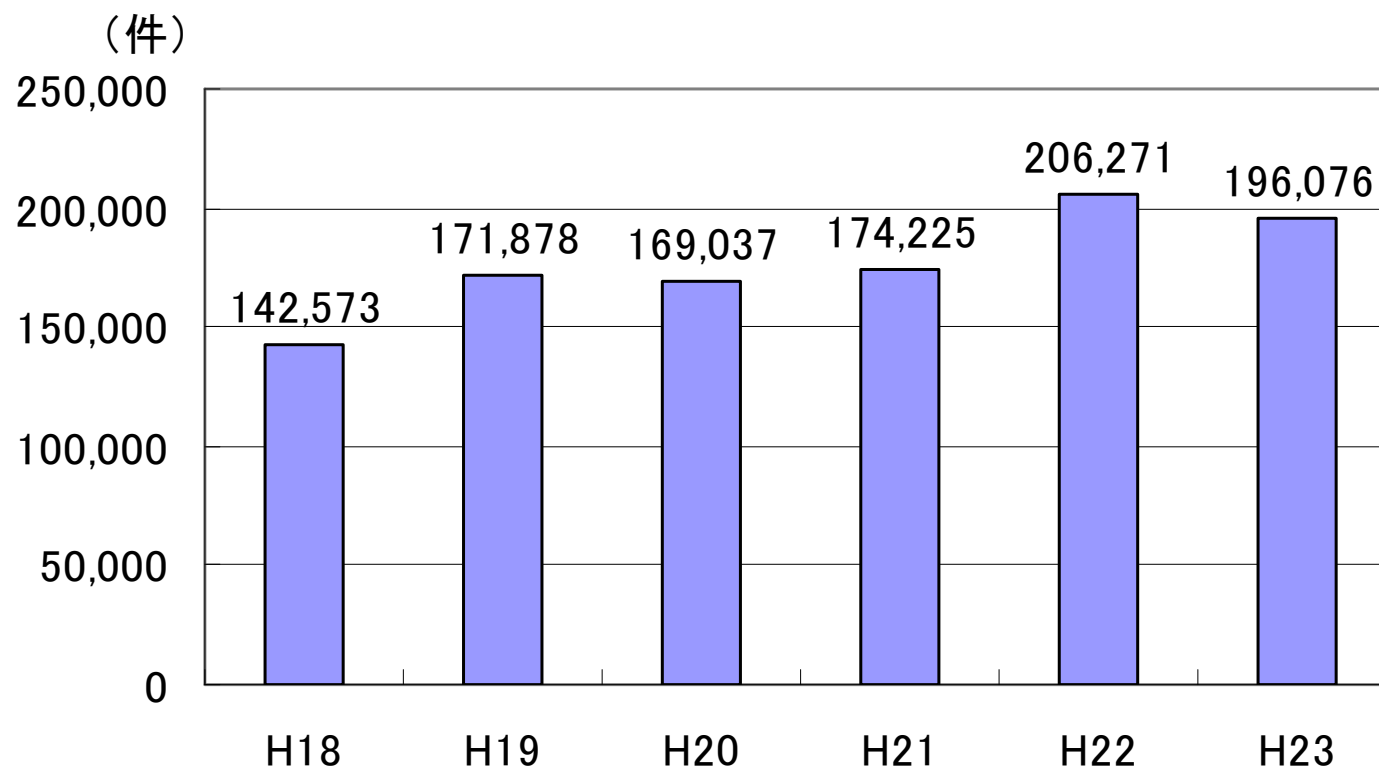


2. テーマに関する情報提供

基礎データ

■ホームページアクセス件数

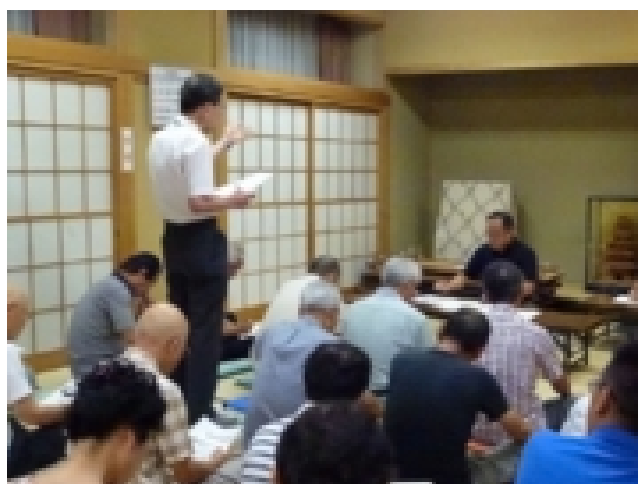
◆幸手市ホームページへのアクセス件数は年々増加し、1日平均500件前後の利用がある。



■タウンミーティングの参加者数

◆平成24年度から、市内10か所（小学校区単位）で、参加者から自由に意見をいただく場として新たに「タウンミーティング」を実施。

◆平成24年度は、計167人が参加した。



地区	人数
香日向	44人
幸手	7人
さくら	7人
行幸	6人
長倉	14人
さかえ	19人
上高野	19人
八代	13人
吉田	32人
権現堂川	6人
計	167人



■市内のNPO法人

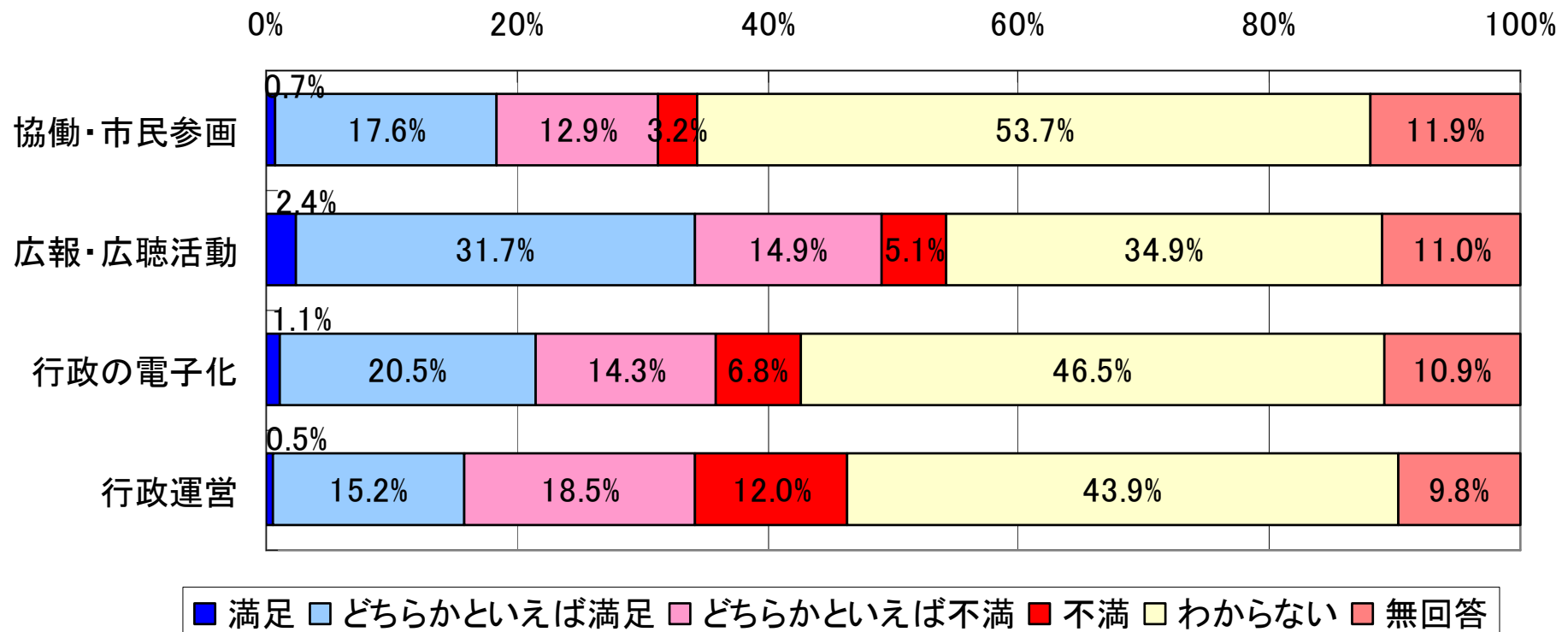
◆埼玉県NPO情報ステーションに登録されている市内に事務所があるNPO法人は14法人。

分野	NPO数
環境・自然	2
福祉（高齢者・障害者・子育て）	7
芸術・文化・スポーツ	3
国際交流	1
商店街活性化	1

市民アンケート調査結果

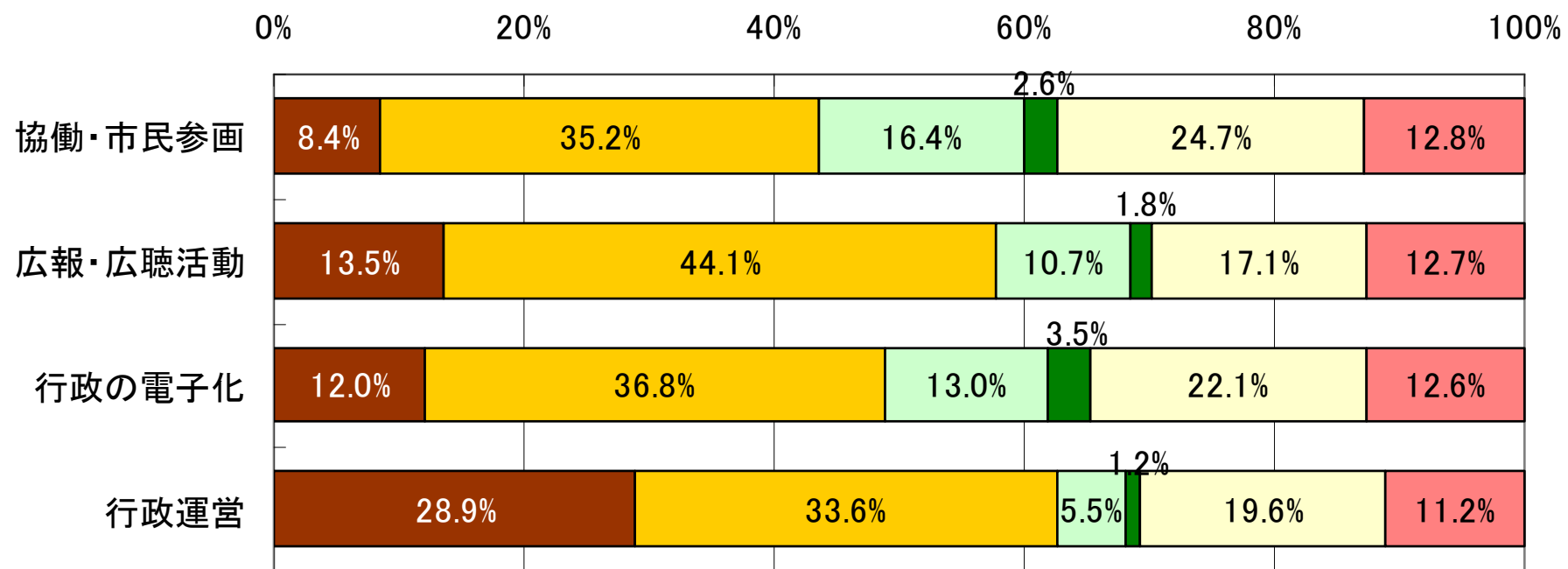
●施策の満足度（市民活動・協働分野）

- ◆協働・市民参画に満足している人は、18.3%
- ◆広報・広聴活動に満足している人は、34.1%
- ◆他の分野と比較すると、「わからない」と回答した人が多い。



●施策の重要度（市民活動・協働分野）

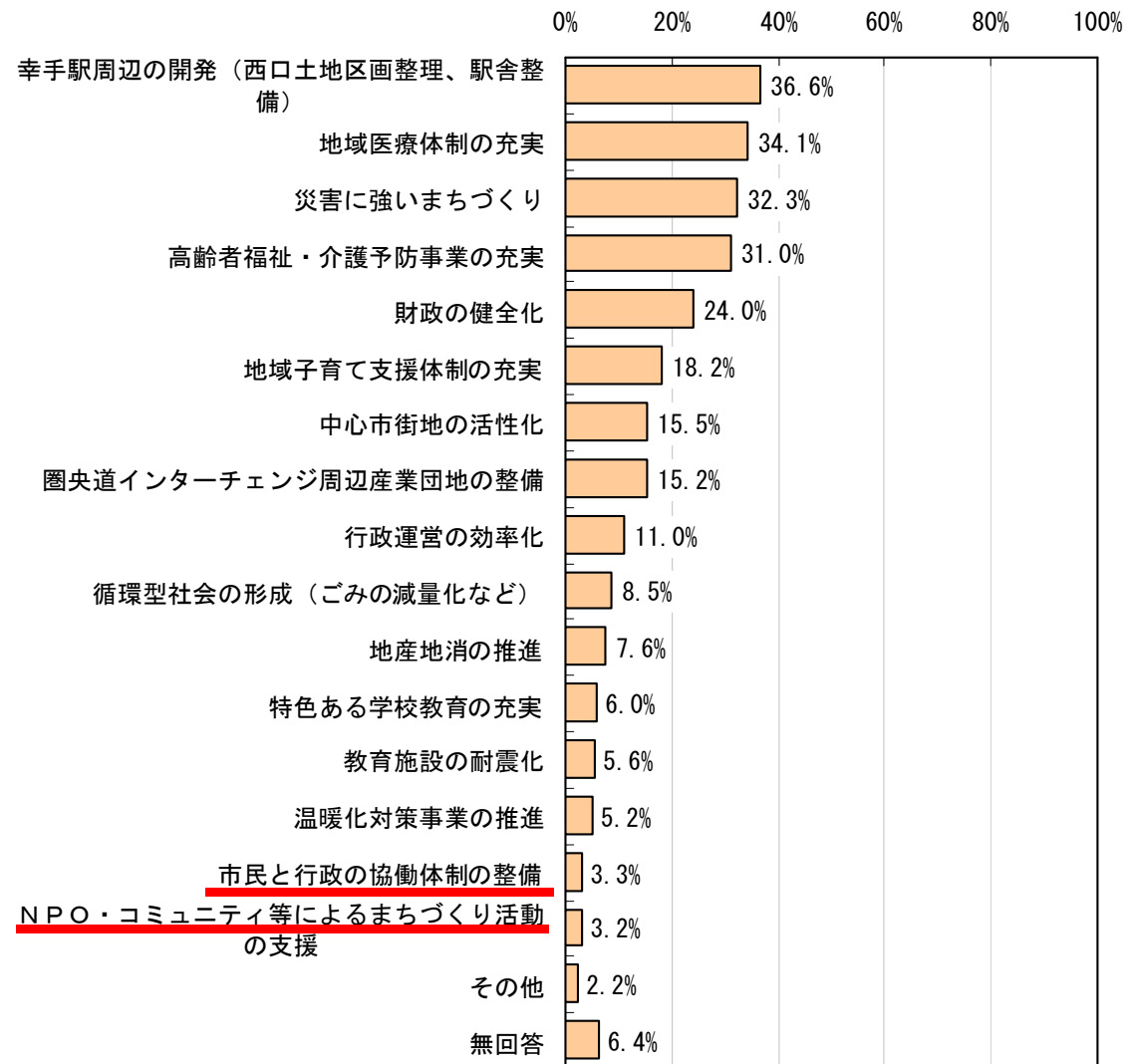
- ◆協働・市民参画が重要と考える人は、43.6%
- ◆広報・広聴活動が重要と考える人は、57.6%
- ◆他の分野と比較すると、重要と考える人の割合が低い。



■ 重要
 ■ どちらかといえば重要
 ■ どちらかといえば重要でない
 ■ 重要でない
 ■ わからない
 ■ 無回答

●今後、重点的に取組むべきと思う施策

◆市民活動や協働に関する施策について、市民のニーズは高くない。
(=あまり関心がない)

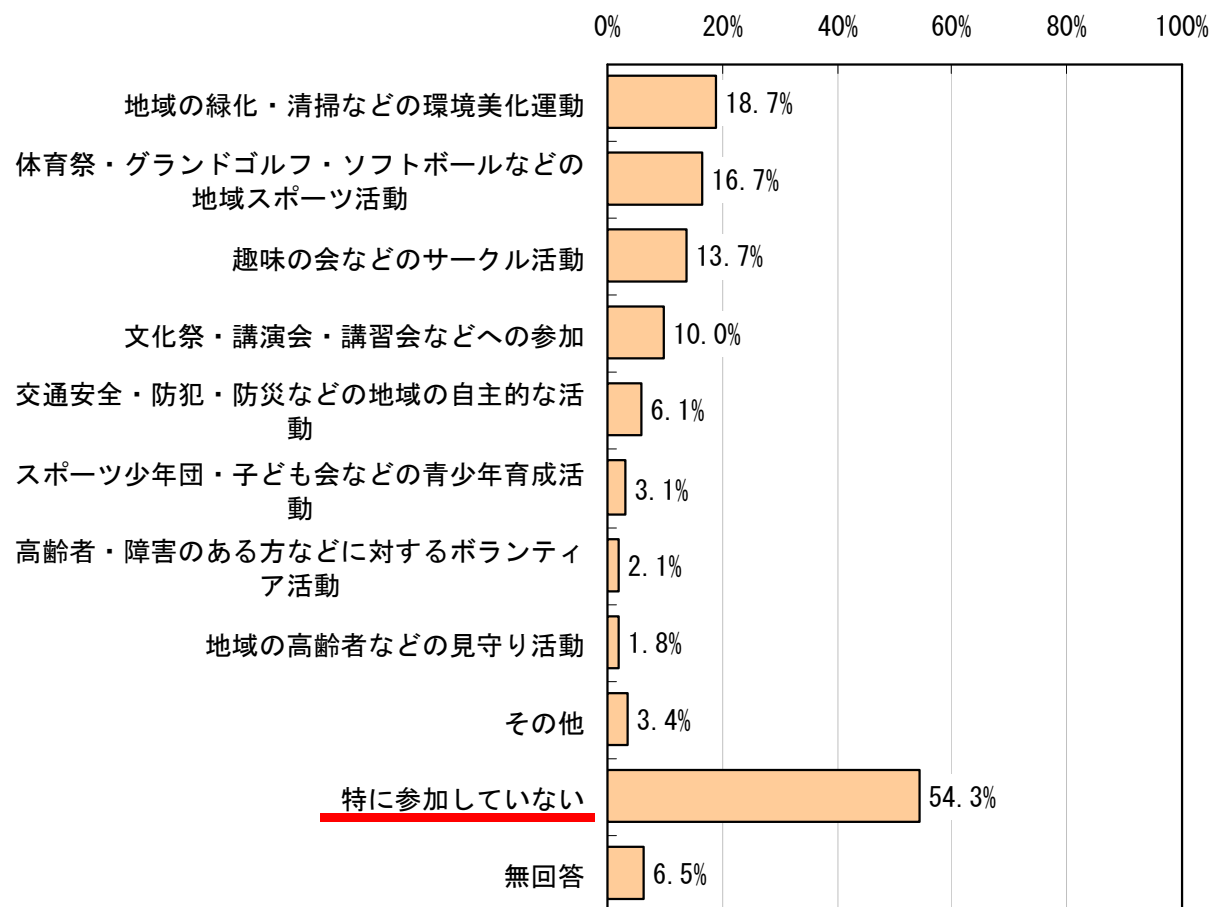


(N=940)

●地域での活動について

◆「特に参加していない」が54.3%

◆特に20歳代では8割以上が「特に参加していない」。

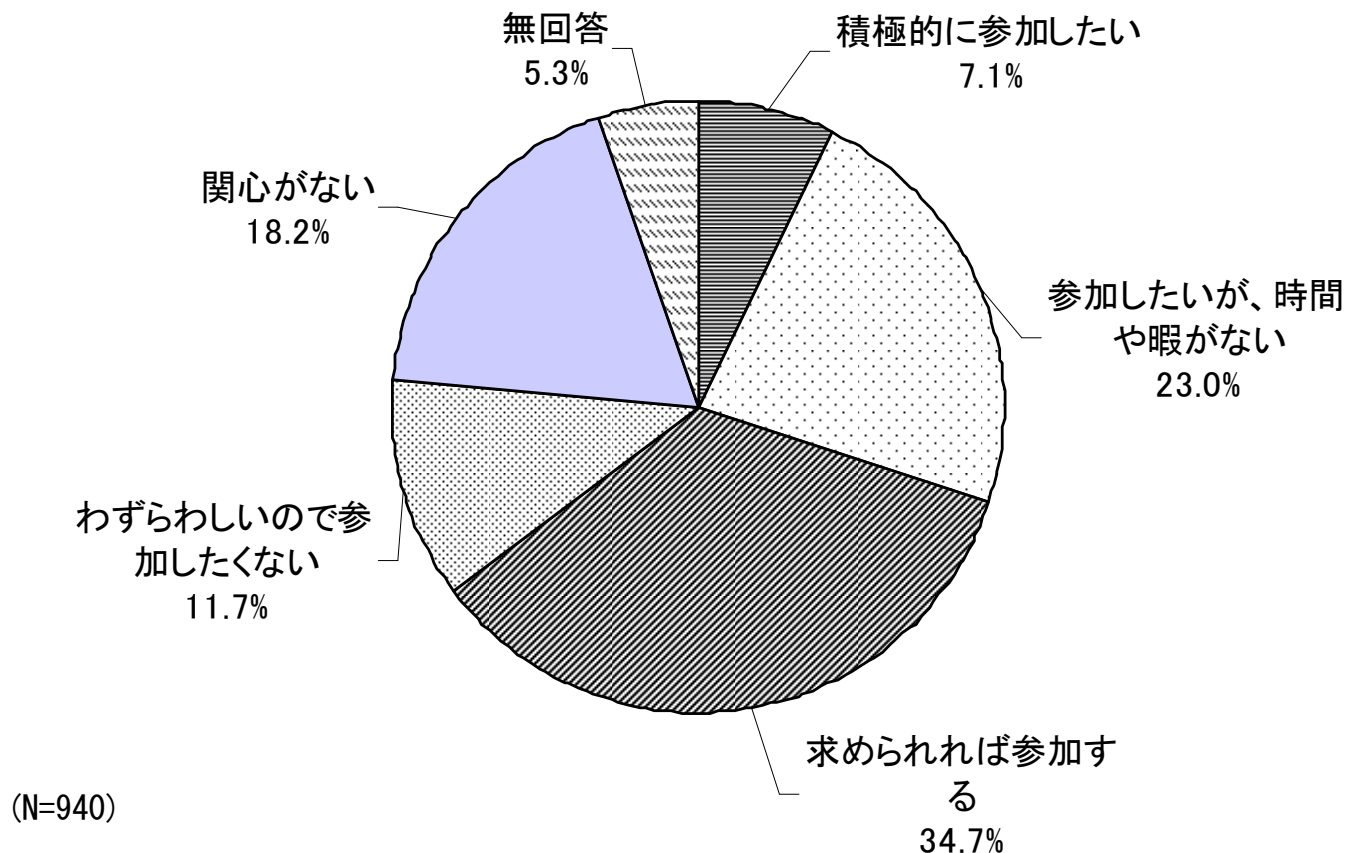


(N=940)

●市や地域の活動に参加したいかどうか

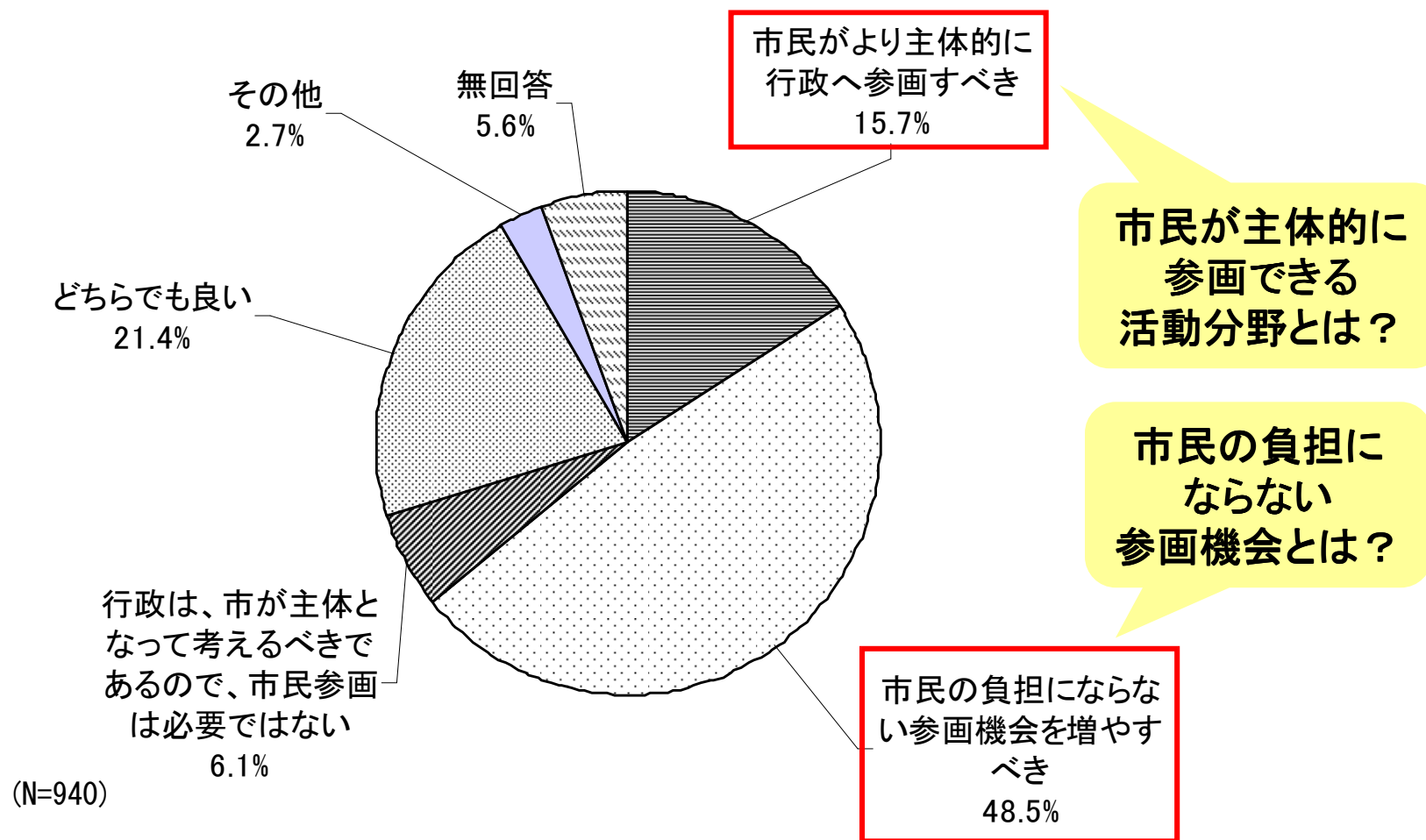
◆「求められれば参加する」が34.7%と最も多い。

◆年齢別では、10歳代及び20歳代では「関心がない」、30歳代では「参加したいが、時間や暇がない」、それ以外では「求められれば参加する」が最も多い。



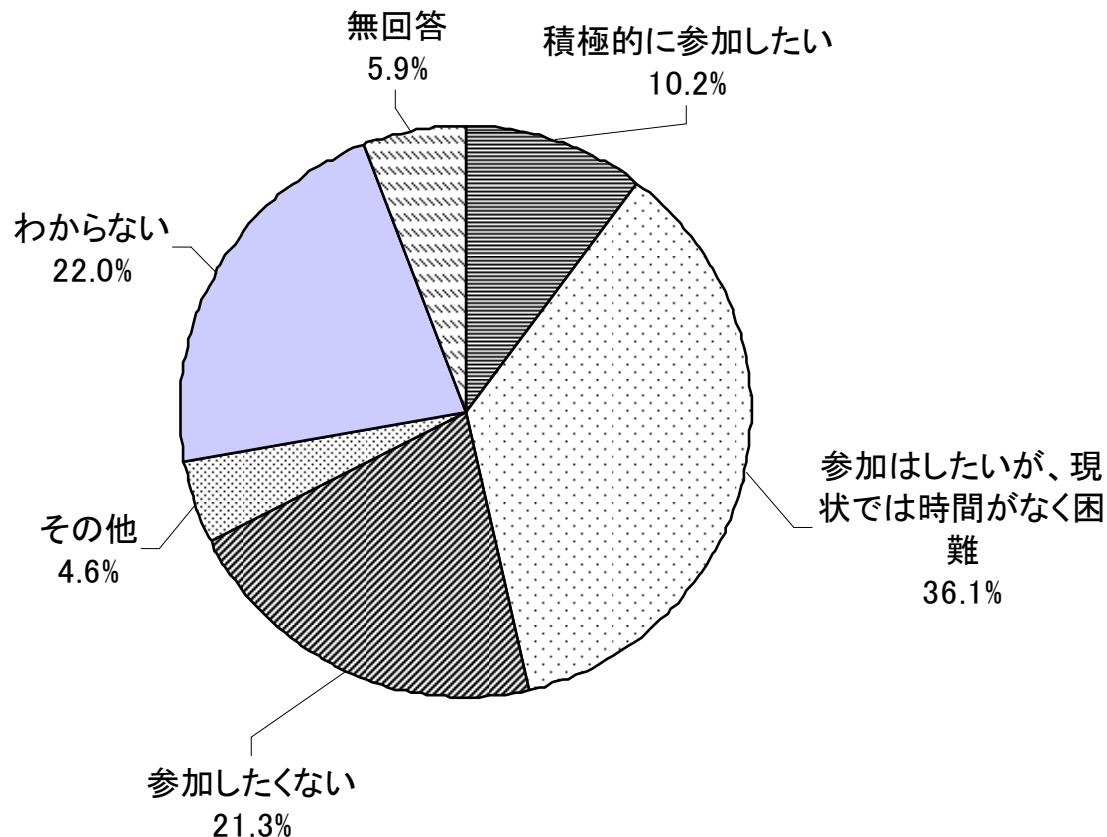
●市民参画について

◆「市民の負担にならない参画機会を増やすべき」が48.5%と最も多い。



●市民会議やタウンミーティングへの参加について

◆「積極的に参加したい」と「参加したいが、現状では時間がなく困難」を合わせると、約46.3%



(N=940)

◆自由意見では「日時など、もっと市外に通勤通学している人も参加しやすいようにしてもらいたい。インターネットを活用してPRや中継してくれるのもありがたい」(20歳代男性)という意見もあった。



3. グループワーク

本日のテーマと検討課題

【第4回】

みんなでまちをつくる
ために

⑥

幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか。

⑦

一人ひとりが活躍できる、地域力の高いまちにするためにはどうすれば良いか。

⑧

幸手のまちづくりをみんなで考える仕組みをつくるためにはどうすれば良いか。

第4回のグループワークの進め方

グループワーク①

グループワーク②

検討課題	現状（宝ものの問題もの）			取り組みアイデア	
	人	もの・場所	機会・情報	市民主体	行政主体
幸手のことを、市民にも市外の人にも、もっと知ってもらうためにはどうすれば良いか。	3つの検討課題のそれぞれについて、「宝もの（良いところ）」と「問題もの（改善すべきところ）」について出し合い、整理します。			①で整理した現状を踏まえて、課題に対する取り組みアイデアについて検討します。	
課題7					
課題8					